

要望趣旨

一級河川東根川及び古川の河川改修事業は、県当局の特段の御配慮によりまして、鋭意、事業が施行されておりますことに対し、心より御礼を申し上げます。

さて、当協議会は、東根川改修事業のより一層の促進を図ることを目的とし、伊達市及び伊達郡桑折町で構成しています。

洪水被害から地域住民を守り、安全で安心な生活の確保を図るため、本事業の一層の促進及び地元の意見を反映した整備計画策定について、下記のとおり要望します。

記

- 1 近年の異常気象とも言える集中豪雨が増加傾向にあることから、本河川の整備は喫緊の課題となっていることを踏まえ、本事業への十分な予算を確保すること。
- 2 東根川遊水地利活用を含めた東根川全体の整備計画を示すこと。
- 3 河川整備の計画策定にあたっては、当協議会は基より、地元住民、河川愛護団体等の意見を尊重すること。

要望理由

東根川は、伊達市保原町富沢字黒森を起点に伊達市の中央部を南北に縦断し、一級河川古川と合流したのち阿武隈川に注ぐ、延長16kmの一級河川で、当地方にとっては地域住民に恵みと潤いを与えてきた重要な河川であります。

本河川の改修は、昭和49年に着手され、平成2年からは広域基幹河川改修事業、平成23年からは社会資本整備総合交付金事業として取り組まれています。古川との合流付近の伊達市保原町中瀬地内及び桑折町伊達崎地内には遊水地も計画され、整備が進められていますが、依然として大雨時の浸水への不安を拭いきれず、近隣住民からも不安の声があがっています。

県内でも、平成27年9月の記録的豪雨による甚大な被害を受けたように、異常気象とも言える集中豪雨が増加傾向にあり、地域住民は一日でも早い、浸水の不安解消を望んでおります。東根川遊水地につきましても、概成すると約35haと広大であることから、平常時は上部空間を公園等として有効利用することが十分に想定されるため、地元住民及び各種団体の関心も高まっています。

以上のことから、強く要望するものです。

◇交付金事業（河川）

① 1工区 東根川（阿武隈川合流点から古川合流点）、古川

・河道開削及び築堤 L=4, 926 m

② 2工区 東根川（古川合流点から上流部）

・河道開削及び築堤 L=2, 770 m

③遊水地

・計画貯水量 103万t